

20年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第17号
令和5年12月20日

自分を支えてくれる人に伝えたい

校長 富塚 義幸

2学期始業式で、たくさんの行事（＝体験）を通じて成長し、より良い葉山中学校を創り上げることを生徒の皆さんに要望しました。どんな成果がありましたか。あいさつはもちろん、思いやりのある言葉や感謝の言葉にあふれた学校になったでしょうか。足りなかったところは、これから少しずつ改善していきましょう。明日の終業式で次の話をします。

2学期、皆さんは86日間登校しました（2年生は学年閉鎖のため84日間です）。1学期と同様、天気や気持ちに左右されることなく、「おはようございます」の元気なあいさつで登校できました。日々の授業、学校行事を通じてそれぞれが頼もしく成長し、また、多くの人を感動させるチームを全員で築きました。頑張りましたね。さて、終業式にあたり「おはようございます」の話をします。「おはよう」は短い言葉ですが、「お早くお起きになりまして、今日もご健康でおめでとう」という長い意味が込められています。相手を敬い、祝福する気持ちが込められた言葉です。だから、互いにうれしい気持ちになるという効果があるのです。身近にいる**自分を支えてくれる人**…家族やクラスの仲間、先生、地域の方には、いつも大きな声で伝えたいですね。近くにいつもいると“当たり前の”存在とってしまい、わがままになることもあります。しかし、いなくなった時の寂しさを想像してください。“当たり前の”ありがたさが分かるのではないのでしょうか。明日から、1月8日（月）まで冬休みになります。毎日の「おはようございます」と「おやすみなさい」のあいさつ、元日の「新年明けましておめでとうございます」と「今年もよろしくお願ひします」のあいさつを、**あなたの身近な人に元気に伝えてください**。私からの冬休みの宿題は二つです。

(1) 「自分の命は自分で守る」＝ **笑顔**で過ごす

(2) 「自分で決めた活動をやり通す」＝ **チャレンジ**する

【スナップ写真】



森先生

『体力向上プロジェクト』



三山先生『三味線教室』



ALUデニール先生と



スクールカウンセラー坂本先生と



給食試食会

資料：『校内書き初め』について

「書き初め」という日本文化を継承し落ち着いた心で書き初めに向かうことを通して、新年の決意の気持ちを高める」、「毛筆に親しみ、文字を正しく整えて丁寧に書こうとする態度を育てると共に、お互いの作品の良さを鑑賞する態度を養う」ことをねらいに、『校内書き初め』が令和6年1月9日（火）開催されます。当日は、全校生が体育館で毛筆による書写を行う予定です。手本となるのは以下の内容です。

1年 輝け未来 (楷書)

2年 大志を抱け (楷書)

3年 旅立ちの春 (行書)



さて、今年一年の世相を漢字一文字で表す『今年の漢字』が、先日、京都の清水寺にて発表されました。2023年の『今年の漢字』には「**税**」の文字が選ばれ森清範 貫主が揮毫しました。今年は147,878票の応募があったそうです。一年を通して増税の議論が活発に行われたこと、所得税や住民税の「4万円の定額減税」が話題になったこと、インボイス制度やふるさと納税なども取り上げられたことが選ばれた主な理由です。ちなみに2位は記録的な猛暑などから「暑」、3位はロシアによるウクライナ侵攻やパレスチナ自治区ガザでの戦闘から「戦」、4位はプロ野球阪神タイガースの日本一にちなみ「虎」でした。5位は「勝」6位は「球」で、WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）の優勝をはじめスポーツ関連の漢字です。では、**新年=令和6年（2024年）の我が家の漢字**を家族みんなを考えて、お正月は家庭で書き初めをしましょう！

※<メモ>には家族のアイデアを自由に記入。

<メモ>

『ご家族皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます』

